

## 令和5年度第1回 様似町地域公共交通会議 開催結果

- (1) 日 時 令和6年3月26日(火)午後1時30分～
- (2) 場 所 様似町役場大会議室
- (3) 出席委員 木下 行宏 会長(様似町副町長)  
仲塚 浩二 委員(ジェイ・アール北海道バス(株)様似営業所長)  
熊谷 勝 委員(日交ハイヤー(株)専務取締役)  
杉山勝登志 委員(様似町老人クラブ連合会 総務)  
門間 俊也 委員(室蘭運輸支局 首席運輸企画専門官)  
木下 健一 委員(様似町社会福祉協議会事務局長)
- (4) 協議事項 議事第1号 様似町自家用有償旅客運送事業(試験運行)の実施について
- (5) 協議結果 議事第1号について「合意」されました。

### 会議概要

事務局より協議事項について説明した後、各委員から質問・意見をいただいた。

#### 【門間委員】

- ・自家用有償運送を初めて行う時、この会議の場で話し合われることとして、地元のタクシー会社さんやバス会社さんのお客さんを取ってしまわないかというのが1つ。もう1つは、エリアや運賃が住民の生活に合っているかというもので、それぞれどう考えられているかお聞きしたい。

#### (事務局)

- ・各交通事業者には、この事業を実施したいということで事前に説明させていただき、ご理解いただいたものと認識している。今回は試験運行の形で実施したいというもので、運行エリアの面でもきっちりとした決めはなく、試験運行をする中で決めていきたいと考えている。運賃についても、妥当な金額かという難しい部分だが、さまにシルバー券の利用対象とするなど、使い勝手が良い形で、試験的にやってみたい。

#### 【杉山委員】

- ・さまにシルバー券だが、岡田・田代地区の人たちが、近くのバス停まで行く時の運賃補助があると思うが、それとは別なのか。

#### (木下会長)

- ・さまにシルバー券と農村部ハイヤー助成は別な制度である。

**【熊谷委員】**

- ・ハイヤーにおいては、農村部ハイヤー助成はほとんど使われていないのが現状で、さまにシルバー券の利用がメインとなっている。そのことから、さまにシルバー券が使いやすい運賃設定にした方が良いと話していた。運行時間についてもあくまで目安で、前日予約で1人目が決まればその後の時間もある程度みえてきて、乗り合いもお願いしていくことになる。乗り合いになれば、コミュニティの場にもなるし、一方では高齢者の免許返納にも繋がるものと思っている。

**【木下委員】**

- ・利用する時の条件はあるのか。例えば、車椅子の方などは対象外で、あくまで介助なしに利用できる人が対象という認識で良いか。また、運行エリアではないところで、通り道なので乗せてくれというのはルール違反になるのか。

**(事務局)**

- ・利用対象は、介助なしに利用できる方が原則となる。国道沿線の運行については、バス会社さんの路線バスがあるので、ご遠慮いただきたい気持ちもあるが、試験運行においては乗っていただいて検証の材料としたいという思いもある。

**【熊谷委員】**

- ・近隣町では、路線バスが走る国道沿線のバス停まで遠いから歩けない人というのは介護サービスの対象となってくる。ただ、1kmも離れていると大変なので、1kmを目安にしつつ、その日の体調なども考慮して対応している。

**【木下委員】**

- ・運行従事者は何名なのか。

**(事務局)**

- ・運転手1名のみとなる。

**【木下委員】**

- ・運行中に何かあった場合は、運転手が対応するということになるのか。

**【熊谷委員】**

- ・そういうことになる。運転従事者には、自家用有償運送の講習を受講させ、何かあった時に対応できるようにしている。

**【仲塚委員】**

- ・バス会社の立場として、この件についてはお聞きしており、今日運行ルートを見た時に、旭方面（B地区）は路線バスとまるカブリだなと見ていた。この方面については、もともと乗車が少ないルートで、「路線バスとカブるので困ります」と言えるほどの便数を走らせている訳でもないで、何とも言えない状況。ただ、今後の見通しとして、報道でご存じのとおり、乗務員が足りておらず、類似にも影響が出ている。今後、便数への影響が出てしまう可能性を考えると、旭方面での移動手段の受け皿になってくれるのかなと思っています、安全運行でお願いしたい。

(木下会長)

- ・バス会社さんの状況もお伺いしたが、ハイヤーについては、何とか4月以降も運行していただけることとなった。だが、先行き不透明ではあるので、それに代わるものとして自家用有償運送を実施し、路線バスの時間と重複しないように運行する。これから観光シーズンを迎えるので、一緒に相乗効果があるように取り組んでいきたい。

【木下委員】

- ・対象者に“観光客等”とあるが、何か意図はあるのか。

(事務局)

- ・利用される方がいるかいないかわからないが、突発的に来町された方が利用したいと希望された場合には対応したいと考えている。

【熊谷委員】

- ・近隣町では、約2年実施しており、今では月100人ぐらいの利用があるが、広く知ってもらうまでは利用者数が伸び悩み、本当に大変だった。老人クラブの方々が率先して利用していただいて、広めてもらうのが有効的で、文書だけではわからないので、直接説明できる場面があればなお良い。

【木下委員】

- ・予約も全て委託業者さんの方で担うのか。

【熊谷委員】

- ・予約専用の携帯電話を用意して対応することで考えている。運行ルートについても、町から地図を提供いただき、事前に把握したうえで対応したい。また、当日予約も想定されるが、それに対応していると1台では間に合わなくなるので、前日予約のみの対応とし、当日の場合はハイヤー利用を勧めたい。

本会議において、事業内容及び実施について合意形成がなされたことから、北海道運輸局(室蘭運輸支局)に対し登録申請に係る手続きを行うこととする。